



## 第51期 中間株主通信

2019年4月1日 ▶ 2019年9月30日

p.01 **トップメッセージ** 高見澤 和夫

p.03 主要製品の概況

p.04 **トピックス**

TOPICS

**創立50周年を迎えました。**

p.05 中間連結財務諸表

p.06 会社の概要

株式の状況 / 役員の状況



## 世の中に必要不可欠な会社を 目指して

平素は格別のご高配を賜わり厚く御礼申し上げます。また、この度の令和元年台風15号及び19号により被災された皆様には、心からお見舞い申し上げます。

さて、当社グループの第51期中間期（2019年4月1日から2019年9月30日まで）営業の概況及び決算の諸事項につき、次のとおりご報告申し上げます。

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用、所得環境の改善が続き、緩やかな回復基調が進んでいるものの、通商問題をはじめとする海外経済の動向や金融資本市場の変動、また相次ぐ自然災害が経済に与える影響など、依然として不安定な要素が存在しており、先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような経済環境のもと、当社グループは、交通システム機器、メカトロ機器、特機システム機器の専門メーカーとして営業活動の展開に注力してまいりました。また、技術、生産部門におきましては、本年4月に社内加工設備の更新を行い、

代表取締役社長

**高見澤和夫**

試作品の作成から製品の量産化までに掛かる期間の短縮や、部品の内製化による生産コストの削減に向けた取り組みを開始しました。

この様に諸施策を積極的に推進してまいりました結果、売上高につきましては、交通システム機器において、主力製品である自動券売機をはじめとする出改札関連機器の大型案件対応に加え、第3四半期以降に計画されていた案件の一部が前倒しになったこと等により、67億3千8百万円となり、前年同中間連結会計期間と比べて81.4%増加いたしました。

損益面につきましては、売上高の増加に加え、売上原価率が良化したことなどにより、営業利益は3億4千5百万円（前中間連結会計期間は3億9千7百万円の損失）、経常利益は3億2千3百万円（同4億1千6百万円の損失）、親会社株主に帰属する中間純利益は1億6千万円（同3億1千5百万円の損失）となりました。

当社は、2019年10月1日をもちまして、創立50周年を迎えることができました。当社にとって50周年は大きな節目ではありますが、企業にとっては一つの通過点です。今後も、交通システム機器、メカトロ機器、特機システム機器を中心に、社会インフラの分野で世の中に必要不可欠な製品を作り出し、「必要不可欠な会社」であり続けるため、全社を挙げて挑戦してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜わりますようお願い申し上げます。

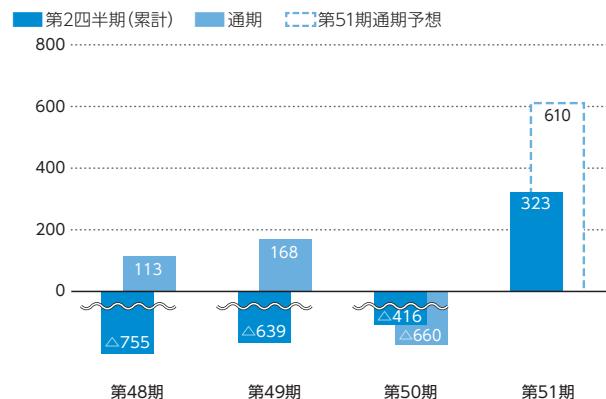
2019年12月

## 連結業績ハイライト ※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

### 売上高 (単位:百万円)



### 経常利益 (単位:百万円)



### 交通システム機器

交通システム機器部門では、交通事業者様向け乗車券自動券売機・自動精算機・ICカードチャージ機等の「出改札関連機器」、扉が横方向にスライドして開閉するタイプの腰高式ホームドアや、3本のバーが上下方向に動いて開閉するタイプの昇降バー式ホーム柵等の「ホームドアシステム」を開発・製造・販売しております。

当中間事業年度におきましては、出改札関連機器の大型案件に加え、第3四半期以降に計画されていた案件の一部が前倒しになったことにより、売上高は36億7千7百万円（前年同期比197.5%増）となりました。



自動券売機  
四国旅客鉄道様  
鬼無駅

### メカトロ機器

メカトロ機器部門では、当社独自のコア技術であるTicket：チケット、Bill：紙幣、Coin：硬貨、Card：カード処理技術を応用したユニット製品を開発・製造し、金融機関向けATMや駐車場の精算機等を製造する国内外の装置メーカーに販売しています。

当中間事業年度におきましては、主に中国をはじめとして海外向けユニット製品が堅調に推移したことにより、売上高は14億8千9百万円（同50.1%増）となりました。



グローバルコインユニット

### 特機システム機器

特機システム機器部門では、セキュリティシステム・防災計測システム・パーキングシステムの開発・製造・販売をしております。

セキュリティシステムでは、オフィスや工場などのセキュリティゲートを主力製品としています。また、レジャー・体育施設などで、入場券発売機などの機器とセキュリティゲートを組み合わせて来場者管理を行う「入退場管理システム」も扱っております。

防災計測システムでは、特定の場所に備え付けて震度を計測する「設置型地震計」、レスキュー隊が地震被災地に持ち込み、余震による二次被害を防止する「可搬型早期警報地震計」、列車やエレベーターなどの運行システムと連携し、大きな揺れが到達する前に機器の動きを停止させ、被害の軽減に役立つ「早期地震警報システム」を扱っております。



入退場管理システム

パーキングシステムでは、駐輪場管理システムに関する製品として、電磁式ラックや自動精算機を扱っております。また、グループ会社である(株)高見沢サービスにおきましては、駐輪場管理業務を行っております。

当中間事業年度におきましては、主に防災計測システムが前年同期の売上高を上回ったことにより、売上高は5億9千8百万円（同2.1%増）となりました。



駐輪場管理システム

## TOPICS



### 創立50周年を迎えました。

(株)高見沢サイバネティックスは、1969年に(株)高見澤電機製作所の自販機事業部の一部が独立して設立され、10月1日に50周年を迎えました。これも株主の方々をはじめとする皆様のご支援の賜物であると、心より感謝申し上げます。今後も社会インフラの分野で世の中に必要不可欠な会社となるよう邁進してまいります。



創立50周年を記念して、当社社員を対象に11月7日に東京・東海大学校友会館、11月22日に長野・佐久グランドホテルにおいて、それぞれ記念式典を行いました。

東京で行われた式典では2016年リオデジャネイロオリンピック 女子柔道70kg級 金メダリスト 田知本遥さんをお迎えし「オリンピック金メダルへの道～2度のオリンピック経験から見たもの～」をテーマに講演していただきました。

## 中間連結財務諸表

### 中間連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	前連結 会計年度	当中間連結 会計期間
<b>(資産の部)</b>		
流動資産	10,590	10,040
現金及び預金	2,917	2,543
受取手形及び売掛金	4,880	3,296
たな卸資産	2,662	3,989
その他	130	210
固定資産	5,292	5,155
有形固定資産	3,372	3,395
建物及び構築物	999	982
工具器具備品	534	515
土地	804	804
その他	1,034	1,093
無形固定資産	94	83
投資その他の資産	1,825	1,676
資産合計	15,883	15,196
<b>(負債の部)</b>		
流動負債	9,887	9,151
支払手形及び買掛金	3,333	4,474
短期借入金	5,010	3,525
その他	1,543	1,152
固定負債	3,760	3,673
負債合計	13,647	12,825
<b>(純資産の部)</b>		
株主資本	2,119	2,236
資本金	700	700
資本剰余金	722	722
利益剰余金	793	910
自己株式	△96	△96
その他の包括利益累計額	115	133
純資産合計	2,235	2,370
負債・純資産合計	15,883	15,196

### 中間連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	前中間連結 会計期間	当中間連結 会計期間
売上高	3,714	6,738
売上原価	2,926	5,170
売上総利益	788	1,568
販売費及び一般管理費	1,185	1,222
営業利益又は損失(△)	△397	345
営業外収益	13	11
営業外費用	33	34
経常利益又は損失(△)	△416	323
特別損失	0	3
税金等調整前中間純利益又は損失(△)	△417	320
法人税、住民税及び事業税	6	11
法人税等調整額	△107	147
親会社株主に帰属する中間純利益又は損失(△)	△315	160

### 中間連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	前中間連結 会計期間	当中間連結 会計期間
営業活動によるキャッシュ・フロー	816	1,464
投資活動によるキャッシュ・フロー	△44	△67
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,263	△1,770
現金及び現金同等物の増減額	△491	△373
現金及び現金同等物の期首残高	2,710	2,917
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,218	2,543

※詳細につきましては、当社ホームページをご覧ください。<https://www.tacy.co.jp/>

## 会社の概要

商号	株式会社高見沢サイバネティックス
英文商号	TAKAMISAWA CYBERNETICS COMPANY, LTD.
設立	1969年10月1日
資本金	700,700,000円
従業員	424名(単体) 602名(連結)

## ■主な事業内容

区分	主要製品
電子制御機器	交通システム機器 自動券売機、定期券自動発売機、自動精算機、ICカード入金機、ICカード発売機(駅務用)、券印刷発行機、ホストシステム、ホームドアシステム 他
	メカトロ機器 硬貨処理関連機器、紙幣処理関連機器、カード処理関連機器、発券処理関連機器、OEM製品開発 他
	特機システム機器 パーキングシステム、セキュリティシステム、入退場管理システム、防災計測システム、コインゲート、カード発売機、オープン温度試験槽、各種計測器 他

## 役員 の 状況

代表取締役社長	高見澤 和 夫	
専務取締役	辻川 秀 邦	
常務取締役	中村 淑 寛	
常務取締役	岩岡 修	
取締役	竹田 一 雄	
取締役	花岡 伸 一	
取締役	高橋 利 明	
取締役	下里 雄 二	
取締役	松浦 秀 昭	社外取締役
取締役	木村 敦 則	社外取締役 独立役員
常勤監査役	浮田 健	
常勤監査役	大井 明 典	
監査役	倉田 民 男	社外監査役 独立役員
監査役	田 中 勝	社外監査役

## 株式の状況

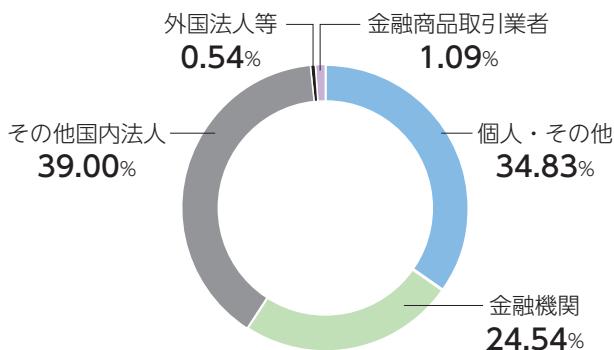
●発行可能株式総数	14,800,000株	
●発行済株式の総数	4,525,000株	
●株主数	2,197名	
●大株主		
株主名	持株数	持株比率
富士電機株式会社	618千株	14.06%
みずほ信託銀行株式会社退職給付信託富士電機口 再信託受託者資産管理サービス 信託銀行株式会社	519	11.81
富士通株式会社	450	10.23
富士通フロンテック株式会社	250	5.68
高見沢サイバネティックス従業員持株会	231	5.26
I D E C株式会社	222	5.06
株式会社みずほ銀行	175	3.98
高見澤和夫	167	3.80
株式会社三菱UFJ銀行	100	2.27
株式会社常陽銀行	100	2.27
レシップホールディングス株式会社	100	2.27

(注)1. 「みずほ信託銀行株式会社退職給付信託富士電機口再信託受託者資産管理サービス信託銀行株式会社」名義の株式519千株は富士電機株式会社が保有する当社株式を退職給付信託として信託設定したものであり、議決権については富士電機株式会社が指図権を留保しております。

2. 当社は、自己株式を126,396株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。

3. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

## ●所有者別株式分布状況



## 株主メモ

■事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
■定時株主総会	毎年6月下旬
■基準日	定時株主総会・期末配当 毎年3月31日 中間配当を行う場合 毎年9月30日
■株主名簿管理人 及び特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
■郵便物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
■公告方法	電子公告 当社は公告を下記ホームページに掲載 しております。 <a href="https://www.tacy.co.jp">https://www.tacy.co.jp</a>

## お知らせ

### 住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。  
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

### 未払配当金のお支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

## ホームページリニューアルのご案内

高見沢サイバネティックス

検索

当社ホームページをリニューアルし、高見沢グループの製品・サービス、最新ニュース、決算情報の詳細など、株主・投資家の皆様に役立つ情報のご利用いただきやすくなりました。ぜひご利用ください。

トップページ <https://www.tacy.co.jp>



IR情報 <https://www.tacy.co.jp/ir/>



株式会社 **高見沢サイバネティックス**

〒164-0011 東京都中野区中央2-48-5  
TEL : 03-3227-3361 (代表)

UD  
FONT



本冊子は環境保全のため植物性インキで印刷しています。